

新たな将来ビジョン2032～みんなと共に、地域と共に～

人と自然の博物館(以下、ひとはく)の使命は「地域を愛する心をはぐくみ、地域の自然・環境・文化を未来へ継承すること」です。この使命を果たすため、ひとはくは開館以降、自然・生命の尊厳、および人と自然との調和に関する県民の理解を深め、学術、教育、および文化の発展に寄与する活動を積極的に展開してきました。そして、それらの活動を推進するため、「人と自然の博物館の新展開」(2002年)、「兵庫県立人と自然の博物館基本構想」(2007年)、「兵庫県立人と自然の博物館基本計画」(2008年)、「ひとはく将来ビジョン」(2013年)を策定してきました。

新たな将来ビジョンは、上記の方針を継承しつつ、これまでの成果と課題、社会潮流をふまえ、2022年以降に当館が目指すべき将来像と、その実現のために必要な方向性をまとめたものです。「将来ビジョン2032」の作成は、博物館の中堅・若手研究員が中心となり、計100回以上の会議を重ねて熟考してきました。スローガンは「～みんなと共に、地域と共に～」です。ここでは、「将来ビジョン2032」の内容をダイジェストで紹介します。人と自然の博物館は、30周年以降にどのような「挑戦」をするのでしょうか？

担い手育成

ひとはくでは、地域研究員や連携活動グループといった制度を通じ、ひょうごの自然・地域を見守る仲間の育成・連携をおこなってきました。これらの制度により育成・連携してきた「担い手」は、主に、社会人・シニアの方々が中心でした。今後は、「担い手」のさらなる充実をはかるため、オンラインを活用した「高校生・大学生」向けの担い手育成にも注力していきます(図1上)。また、座学・野外実習・ディスカッションをセットで実施するセミナー等を計画し、「担い手」のステップアップを支援する取組にも挑戦する予定です(図1下)。

生涯学習支援

ひとはくでは、未就学児からシニアの方々の生涯学習を、セミナーなどの活動を通して支援してきました。年間に開催するセミナーは実に1000件以上に及びます。その一方、盲目や難聴などのお体の不自由な方々や、博物館に興味のない方々には、セミナー等に参加しにくい側面がありました。30周年以降は、五感を使ったセミナーや学習展示の充実をはかり、生涯学習を「みなさん」に届けようとする予定です(図2)。

2
五感を使ったセミナーや
学習展示でみんなの生涯
学習を支援



1
オンラインや
バックキャスト思考で
「担い手」を支援



アウトリーチ

移動博物館車「ゆめはく」をご存知でしょうか？ ゆめはくを活用したキャラバン事業は、2002年から20年間も継続しています。30周年以降は、地域の皆様と共に、より長期的な活動を展開するために「地域伴走型アウトリーチ」と命名した活動をする予定です。今後、より長く・より深く、地域貢献する活動を計画します。是非、お楽しみください。

シンクタンク

シンクタンクでは、ひょうごの生物多様性保全や地域づくりに関する課題に対応し、その解決策を提案してきました。シンクタンク活動は、ひとはく研究員の力の見せどころです。30周年以降は、「課題を解決する」だけでなく、「課題が生じることを予測し、未然に防ぐこと」にも挑戦します。ひとはく研究員の活躍にご期待ください(図3)。

3
先取実践型のシンク
タンク活動を推進



4
標本・資料のデジタル
画像化を推進



5
分野を横断した共創・創発型の共
同研究や「職人の力」に着目した
研究を推進

標本資料

ひとはくには、200万点を超える標本・資料が収蔵されています。30周年以降は、これらの貴重なコレクションを公開していきます。10月には新収蔵庫棟「コレクションナリウム」がオープンし、鳥類・昆虫標本等が公開されました。また、標本・資料のデジタル画像化を推進し、鮮やかな標本画像を整備予定です(図4)。近日中に、植物標本20万点がデジタル公開される予定です。是非、お楽しみください。

研究

ひとはく研究員は、これまでに「新種の発見」「恐竜化石」「外来種防除」「生物多様性保全」「地域づくり」といった様々な分野で、輝かしい実績を収めてきました。これまでに公表してきた学術論文は1600報以上にもおよびます。今後は、自然科学や社会科学の各分野における最先端の研究を推進することはもちろんのこと、分野を横断型し、「共創・創発」で斬新な研究にも挑戦していきます(図5左)。また、農家や町工場の技師の皆様のノウハウといった「職人の力」にも着目し、地域と共に研究を推進する予定です(図5右)。

将来ビジョン2032では、より身近な博物館として県民の皆様にご来館いただくための工夫や、地域により密着したアウトリーチ活動など、引き続き、県民の皆様や地域の皆様と共に歩んで行く方針がまとめられています。また、研究活動や資料収集・活用をより一層強化し、兵庫から、全国、そして、世界に貢献する成果をあげることも目標に掲げられています。

新たな将来ビジョンは、2023年3月に発行予定です。お楽しみに。

布野 隆之(展示更新タスクフォース)